



宇治田原町の悠三堂さんで茶摘み体験(5/25 わたなべ)



🍴 言いたい放題！ アッキー28号 (33) 過去からの贈り物

🍴 言いたい放題！ アッキー28号 (34) たかが一票。

我が家の場合

🍴 作らずにはいられない「ネイティブアメリカンの三姉妹」

🍴 うたかた話 方丈記、徒然草

🍴 今月の五行歌

🍴 マンガ「明るい自閉症講座」9♪

🍴 イベント紹介 🍴 編集局より／LIP配布場所／会計報告

「LIP編集局」 <https://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)

郵便振替口座 00920-8-120259 (LIP編集局)



改元に伴う十連休が終わり、令和フイーバーも落ち着いた頃、関東に住む年の離れた従姉から荷物が届いた。

中身は、ビニール袋に入ったカーディガン。えび茶色に白い毛糸をかつちりと編み込んだ機械編みの模様には、見覚えがある。どうしてこれを? 不思議に思いながら取り出すと、かすかに樟脳の匂いがした。

荷物には、聖句と野の草をあしらった絵葉書が添えられていた。クリスマスチャンで思いの深い従姉らしく、通信面には愛情のこもった言葉がびっしりと並んでいる。傘寿を迎えて職を退いたこと、そして家を片づけていたら、亡母のために昔Y叔母様が編んでくれたカーディガンが出てきたということ。貴女の許にあるのが最もよいと思いついて、H叔父様が書かれた文章のコピーも出てきたので別送します、と書かれていた。そして、「このカーディガンを抱きしめられるとき、お母様のご愛とお力があなたを励まされますね。良い日々を!」と絵葉書の文章は結ばれていた。

ということとは、このカーディガンは、私の母が編んだものなのだ。しかし、Yという名前に憶えがない。どういうことなのだろうとしばらく考えていて、思い出した。

四十年ほど前、家の中が大変だったとき、父の発案で、私たち四人家族は全員名前を改名したのだった。確かそのとき母は、Hという名になった。さらにその前には、婚家の家風に馴染むようにと親戚から勧められ、Yと名乗っていた。そうだ、そんなことがあったのだった……。

言いたい放題! アッキー28号 (33)

過去からの贈り物

翌日郵便で父の文章のコピーが届いた。亡くなる前に通っていたN教会に提出した「証(あかし)」の文章をコピーして、父は十幾つ年上の長姉に送ったようだ。レポート用紙に手書きしたものをコピーした四つ折りの三枚の紙は、端が少し茶色くなっているが、しわ一つない。いちばん上に「息子を取り戻すために」と題が書かれている。キリスト教会では、神様からいただいた恵みを人に伝えることを「証」という。家の中が大変な状況であったときに、クリスマスチャンの伯母たちに勧められて私たち家族はN教会に通うようになった。そこで父が書いた証だ。私も見た覚えがある。

私の実家では昔弟が登校拒否をきっかけに、入院、その後家庭内暴力、引きこもりとなった。大正生まれで貧しい中から頑張り続けて成功を得たと自負する父には、「心の弱い息子」が受け入れられなかった。しかし、教会で教えを聞くうちに、「理想の息子像」を息子に強いてきたことに気がついた。今困難の中にある息子を理解し、息子を取り戻したい……。父の証はそんな風に書かれていた。

手書きの力は大きい。父の考えや書いた言葉は、私の記憶の中にも残っていて、正直「またか」と苦い思いを誘起する。それでも右上がりに少し傾いた文字を見ると、苦悩する父の気持ち伝わってくるようでああ、辛かったんだなあ、苦しんだんだなあ、素直に共感することができた。

父はその後もなく癌で亡くなった。現在九十五歳の母は認知症で記憶をほぼ全て

失ってしまったが、施設で健康と安全をまもられて生きている。弟はといえば、実家でなんとか一人暮らしを続けている。

私自身還暦を迎え、二人の子どももそれぞれ成人に達した。そんな今であればこそ、穏やかな気持ちで昔を慈しみ感謝することができ。伯母と従姉がたいせつにまもってくれていた、父と母の思い出の品。長い年月で辛い記憶も浄化された、そのときを待って送られてきた。まるでタイムカプセルを開けたような気がする。

おれの手紙を書こうと思ったが、その前にまず従姉に電話した。「届きました。ありがとう」と言う、「まあ、アッキーちゃん」とやさしい従姉の声。互いの近況報告を話した後、重ねて感謝の思いを伝えると、「でも、覚えておいてね」と従姉は言った。「天に召された後は、地上でのことは解消される。全てゼロになるのだから」

父と母の「遺品」ともいえる二つの品を、私は従姉の絵葉書や荷物の袋と一緒に籠に置いてみる。キーボードを打ちながら、時々ちらっとそちらを見てみる。



(著者プロフィール) パート勤務の主婦。自閉症を持つ成人した息子がいます。市民活動、文化活動にも励んでいます。

今年亥年は、国と地方の選挙が相次ぐ「選挙イヤー」。三年ごとに半数の議席が改選となる参議院選挙と、多くの地方選挙が集中する、四年に一度の統一地方選が重なる。

選挙で投票するのは、自分たちの意見を政治に反映する、数少ない機会である。「私の投票した候補者は、めったに当選しない。もう、イヤっ！」なんて言いながら、私も夫も毎回投票に行っている。

自閉症という障害を持ち、投票用紙に候補者の名前を書くことが難しい上の子が成人に達すると、彼の投票権を保障することが我が家の課題となった。そのことについては以前も書いたが、都度「挑戦」と「それなり成功」を重ねてこれまできている。

それに加え、今度は隣に住む高齢の義母のことも考えないといけなくなってきた。

四月七日日曜日。府知事選と府議会議員選挙の投票にそろそろ行こうと息子たちと準備していると、「タクシーを呼ぶから、私も一緒に。お願い」と義母がやってきた。

私の家には車がない。左隣に住む義兄夫婦も、義母と生計を一にする義妹も、免許も車も持っていない。車が必要な場合は、タクシーを利用することになる。

九十五歳の義母は元気で、二週間に一度手押し車を押して坂を上り、五百メートル離れたRクリニクまで、高血圧の薬をもらいに一人で歩いて行っている。私たちの地区の投票所である自治会館は、Rクリニクから二百メートル先だ。「でも、あそこまで行ける気がしない」と義母は言う。

タクシー会社に電話して車を呼び、上の

言いたい放題! アッキー28号 (34)

たかが一票。我が家の場合

子と、ワンコインで彼の介助を頼んだ十九歳の下の子、義母と私が乗り込んだ。

自治会館までタクシーで行き、投票がすむまでタクシーを待たせて、また乗って帰ろうと思ったのだが、それが大変だった。

自治会館には駐車場がなく、前の道路も狭い。入口のわずかなスペースに自転車が一台停めてある、あれをのけてもらえば停車できるかも。会館の前にいた係の人に言う、「すみません、高齢者と障害者がいるんです。ここに車を止めさせて!」と私も声を張り上げて、停車する場所を確保した。車を降りるとだだっとなって行こうとする上の子と、足元の悪い義母。「ああ、お母さん、彼に寄りかかったら危険です!」叫ぶだけの私と、全然頼りにならない下の子。それでも会館に入り、上の子は代筆投票で、四人共投票をすませて車に戻り、帰宅することができた。タクシー代は義母が払った。二週間後の市議会議員選挙の際には、前もって対策を考えた。ショッピングセンターで不在者投票をして「我関せず」の夫に、「あんたのお母さんやろ」と詰め寄った。結果、義妹と夫が、義妹の仕事が休みの選挙前日土曜日に付き添って、タクシーでショッピングセンターの不在者投票に行くことになった。私は、「近くの市の施設で不在者投票できる。駐車場があってタクシーも待たせられるし、うちから平坦な道を六百メートルだから、ゆっくり一緒に行けば、おかあさん、歩いていけるかも」と進言したのだが、なぜか却下。

義妹と夫が付き添った不在者投票は、い

まひとつだったようだ。当日ショッピングセンターの近くで事故があり、道路が通れず大回り。ショッピングセンターで車を降り、投票をすませてから、義妹が近くの駅まで歩いて行ってタクシーを拾い、戻ってきて夫と義母をピックアップ。「二度乗って、三千円越したよね?」と夫に言う、「うん。でも、おふくろが払うんだし」……

戦前女性参政権のなかった時代に成人となった義母には、投票に対して強い思いがある。夏には参院選、市長選もある。どうしようと思ひ、そんなことをフェイスブックに投稿すると、八十代で妻を介護中という知人から、「うちはいつも郵送」とコメントがついた。え、そんなこと、できるの?

早速市の選挙管理委員会に電話した。すると、郵送で投票できるのは、「両下肢、体幹、または心臓機能に障害があり、身体障害者手帳一、二級保持者」または「要介護五」の人。三年前の介護認定で「要介護二」とされた義母は、これにあたらなない。「それに該当しないけれど投票したいという人は、家族が車で連れて行くか、背におぶって連れて行くということですか? もうちょっと考えてくださいよ」。かううじてそう言うて電話を切った。

タクシー代が惜しいだけではない。なんだか割り切れない思いが残る。美容院でママに「ぼやくと、偉いわねえ。私は選挙行かないの。日曜日店があるし」とママは言った。「まあ、もったいない! 不在者投票にでも行ってよ」と返したけれど、あたりまえに行使できる権利というのは、そのありがたみをあまり感じられないものであるようだ。

シリーズ『作らずにはいられない』(16)

—— ネイティブアメリカンの三姉妹

「一万年の旅路 ネイティブ・アメリカンの口承史」というものすごい本を読んでしまった。

文字を持たなかったアメリカ大陸先住民・イロコイ族に、口伝えて連綿と伝承されてきた一万年(!)を超える一族の歴史を出版したものだ。

むかしむかし、はるか一万年も前と思われる頃、定住していたアジア大陸の地が地震による壊滅的被害を受け、新しい定住の地を求めて一族で旅立つところから話は始まる。

現在のベーリング海峡と思われるところを渡り、北アメリカ大陸を歩き通し、ロッキー山脈と思われる険しい山岳地帯を苦労して登りきって西海岸へと出る。中央大草原地帯を通り抜け、五大湖のほとりに定住の地を得るまでの、波乱万丈の歴史が詳細に語られる。いかにして一族の力で困難を乗り越えるか、その智恵と教訓の膨大な蓄積でもある。

途中に挟まれる思い出話の中には、異種族(異人類?)との出会いと交流の場面が出てきたりもする。ネアンデルタール人かデニソワ人かとも思える異人類との出会いは、一万年どころか五万年、十万年レベルも歴史をさかのぼる話になる。

そして、これらの話は、最新の人類学上の研究にもよく符合するらしい。

現在の人類学上の定説によれば、アメリカ先住民は一万年以上前に、当時、陸続きになっていたベーリング海峡を渡って、ユーラシア大陸から移り住んできたと言う。

ネアンデルタール人やデニソワ人と言われる旧人類と、わたしたち現人類は共存していた期間があり、交配もしていたことがDNA分析から分かってきているらしい。口承では、そんなことまで伝えられているようにも読める。

わたしが驚いたことは他にもいろいろある。

この口承史を持つイロコイ族は、ヨーロッパ人がアメリカ大陸を「発見」する千年も前から、強力な連邦国家を営んでいて、現在もパスポートを発行するなど、独立国に近い存在らしい。

さらに、イロコイ連邦の憲法は、現アメリカ合州国の憲法にも影響を与えたと言われ、一九八八年には米国上下両院で、イロコイ感謝決議と呼ばれる決議が採択されている。

ちょっと前振りが長すぎたけれど、この口承史の中に、ネイティブアメリカンの三姉妹、スリーシスターズが登場する。とうもろこし、豆、かぼちゃを



とうもろこしの苗。先は長そう。

混植する農法で、たいせつにされてきた作物らしい。

- ① トウモロコシが育った後、根元に豆の種をまく。
 - ② 豆はトウモロコシの茎に蔓を巻きつけ、葉陰で保護され育つ。
 - ③ さらにその根元に、カボチャを植える。カボチャは葉が土の水分を保持し、雑草や虫の発生を抑える。
 - ④ トウモロコシと豆を収穫した後、カボチャは朽ちた葉などを肥料として大きく育つ。
- ということらしい。

いま風に言えば、コンパニオンプランツということか。栄養的にもこの3つだとバランスが良いらしい。ちなみにこれは、2009年に出版された1ドルコインの図柄にもなっているそうだ。

これは自分でもやってみなくてはならない。

さっそく実家の畑にとうもろこしの種を蒔いてみた。隔週週末くらいにしか行けないので、ほとんど放置状態になる。ある程度とうもろこしが成長したら、豆とかぼちゃを育てることになる。一万年の蓄積のある知恵だ。簡単に真似できるものでもないだろう。しかし、失敗するのもまた楽しい。

＝ ＝ ＝ ＝

『一万年の旅路 ネイティブ・アメリカンの口承史』

(著) ポーラ アンダーウッド (翻訳) 星川 淳

翔泳社

※合州国第100連邦議会

「合州国憲法成立に対するイロコイ連邦の貢献を認め、憲法で定められたインディアン諸部族と合州国との政府間関係を追認する両院共同決議案76号」

(1987年9月16日上程、1988年10月7日採択)

(LIP編集局 わたなべ)

前回は方丈記の前半、この時代に起こった五つの大きな出来事について書きました。方丈記の後半には鴨長明が方丈の庵に住むようになった気持ちなどが事細かに記されています。その事をよく表しているのが、最後の文節の少し前に分かりやすく書かれています。少し長いですがそれを書いてみますと、

「宮殿楼閣も望みなし。今さびしきすまひ。一間に庵、みずからこれを受す。(中略)他の俗塵に馳する事をあわれむ。もし人このいえる事を疑えば、魚と鳥とのありさまを見よ。魚は水にあかず。魚にあらざれば、その心を知らず。鳥は林を願う。鳥にあらざれば其の心を知らず。閑居の気味も又同じ。住まずして誰かさとりむ。」と書かれています。

そして最後の段には「方丈の庵」での生活とその気持ちが書かれています。

これは世の中の汚れを総て捨てて、仏になった様な達観した気持ちで我々も斯く有りたいと思う様な世界ではないでしょうか。私にはこういう気持ちには決して成る事が出来ないと思います。非常にのんびりとした長生きの出来る長閑な気持ちだと思いますが、年を食ってくるとこの様な気持ちが大切ではないかと思われまふ。

この辺りで「方丈記」のお話し終わりにして「徒然草」に入りたいと思います。

私が「徒然草」に深く興味を持つように成りましたのは、放送大学の島内裕子教授の『「方丈記」と「徒然草」』と言う講座を取ってからです。

島内裕子教授の『徒然草』は日本の随筆としての面白さに加え『徒然草絵抄』の挿絵等を混ぜながら同じ時代の文学作品(源氏物語、枕草子や果ては白氏文集など)との関係などが論じられて居ましたので、その面白さを知る事が出来ました。

平安時代の作としまして「源氏物語」は別として、随筆として有名なのは「方丈記」「枕草子」

「徒然草」の三つだと思います。

「方丈記」は短い乍らも一つのテーマを持っていますが、「徒然草」は各段が独立しており、まさに思いつく儘に書かれているように思います。書かれている内容は「方丈記」よりも多く段数も二百四十三段有ります。

各段はそれぞれ独立しており、まさに思いつく儘に書かれた随筆としての形態を持った作品と言えます。作られた当時は余り知られては居ませんでした。江戸時代に入って活版技術の発展と解説書が多く作成された事から広く一般に読まれるようになりました。

「徒然草」の序段は皆様もよくご存じの

『徒然なるままに、日暮らし、硯に向かひて、心にうつりゆく由無し事を、そこはかとなく書き付くれば、あやしうこそ物狂ほしけれ。』で始まります。

今迄に発行された古典文学書は、例えば岩波書店発行の「日本古典文学体系」等の様にその本の全体の解説を書くと同時に、難しい語句等を脚注か頭注として、本文の下か上に書かれていました。

しかし島内裕子教授の考えられた構成は本文の次に難しい語句の解説をし、その次に「訳文」を書き、続いて「評」を書かれています。その形態の本が「ちくま文芸文庫」から発行されており、随分判りやすくなりました。私はこの本を随分使わせて貰っています。この様に古典文学に興味を持てるようになりましたのも放送大学に長く通っていたお陰と思っています。

この続きは又次回に譲りたいと思います。

今回は放送大学の教科書、ちくま学芸文庫島内裕子著「枕草子」「徒然草」を使わせて頂きました。

◆ 小田川徳男

うたかた話(6) 方丈記、徒然草

LIPが選ぶ

今月の五行歌

浮遊

赤チンと征露丸で
何でも間に合った

子どもの頃

昭和に改名 正露丸

令和に赤チン消える

えらい前向きやなって

言われたけど

ホンマに

思ってる

私、年をとるのは楽しみ

私に誇れるのは

次々襲い来る

しょうもない家族の困難を

へたりながらも越えてきたことだな

還暦同窓会で笑う

ちえこ

桑本明枝

明るい自閉症講座(9)

作 くらねこ七楼



雑貨&cafe くらねこ 枚方市片鉾東町20-1 (数秘術鑑定いたします)

イベント・サークル・ボランティア情報

第2回枚方市民ミュージカル 出演者オーディション

■オーディション日時:

★6月9日(日) 13時半〜牧野生涯学習市民センター

★6月15日(土) 13時半〜教育文化センター

★どちらか都合の良い日時をお選び下さい。

■オーディション受験: 無料

■主催: さくらさくらカンパニー

■申込: さくらさくらカンパニー <http://fakikaku.com/> 応募フォームから■問合せ sakura2com@fakikaku.com まで

■ミュージカルの舞台があなたを待っています! まずはオーディションを受けてみよう!

「森友問題とは何か」情報公開と国民主権

*日時: 7月7日(日) 午後2時〜午後4時

*場所: 交野市ゆうゆうセンター3F 研修室

(JR河内磐船駅歩2分または京阪河内森駅歩6分)

*講師: 木村 真さん(豊中市議会議員)

*参加費: 500円

*主催: 憲法とくらしを考える会

*連絡先: 072-892-4938 (松村)

「森友問題」を最初に提起し、追及し続けてきた木村真さんのお話を伺います。「森友問題」では、文書廃棄、改ざん、隠蔽が行われ、私たちの「知る権利」が著しく侵害されました。市民にとって情報公開がいかに大切なものを学びたいと思います。

①「人間関係・家族関係を上手につくる心理学スキル講座」

内容: 人間関係を見直す心理学的スキルを紹介します。

◆日時: 6月4日(火) 14:00〜16:00

◆場所: 交野市立青年の家

◆日時: 6月12日(水) 13:30〜15:30

◆場所: ラポールむらかた

②「カウンセラー入門講座体験&説明会」

内容: 心の支援についての基本的な取り組みを学べます。

◆日時: 6月20日(木) 10:00〜11:30

◆場所: ラポールむらかた

◆日時: 6月20日(木) 10:00〜11:30

◆場所: 交野市立青年の家

①②の申込・問合せ: NPO法人京阪総合カウンセリング

TEL 072-814-7140 メール jimu@np-ksc.net<http://www.npo-ksc.net> ①②とも参加費: 無料*知って欲しい「親なきあと」のこと
〜障がいのある子と、そのきょうだいが
笑顔で暮らしていけるよう〜

■日時 6月18日(火) 10:30〜12:20

(受付開始10時〜)

■会場 ラポールむらかた

■申込先

<https://kokucheese.com/event/index/562586/>

■主催者 ポレポレネットワーク

■問合せ polepolenw_contact@googlegroups.com

■参加費 無料 (定員100名先着順)

「親なきあと」に向けて何をどのように考えておくべきなのか、法的な備えなどを終活カウンセラーで、障がい者の家族でもある藤井奈緒さんにご講演頂きます。

*音楽でリフレッシュ!

快い音でゆったりとした楽しい時間を仲間と一緒に思いっきり声を出して心身共にリフレッシュしませんか?

日時: 6月16日(日) 12:30〜14:00

場所: 南部生涯学習市民センター 2階音楽室

日時: 6月24日(月) 14:00〜15:30

場所: サンプラザ生涯学習市民センター 5階視聴覚室

参加費: 500円(初回無料)

申し込み・問合せ 音楽でリフレッシュ! 担当: 中嶋

TEL: 072-840-5493

無添加石けん商品・手作り作品販売のお知らせ

・バザー 6/5(水)・6/19(水) 10:30〜

: 市役所前の岡東町公園

・廃油回収 6/18(火) 10:30〜12:00: 北部支所玄関前

7/16(火) 10:30〜12:00: さだ生涯学習市民センター前

・ふれあいフェスティバル 6/2(日) 10:00〜

: 市役所前の岡東町公園

障害者労働センター 枚方市中宮山戸町10-12-101

TEL 072-848-0508

ネットショップ URL: <http://paso0508.cart.fc2.com>フォーラム・子どもたちの未来のためにシンポジウム in 京都
私たちの時代・私たちの表現

〜いま、子どもたちに何を伝えるのか〜

第1部: 基調講演「私たちの時代・私たちの表現」中島京子(作家)

第2部: シンポジウム「いま、子どもたちに何を伝えるか?」

あさのあつこ(作家)・中島京子(作家)

長谷川義史(絵本作家)・令丈ヒロ子(作家)

司会: ひこ・田中(作家)

日時: 7月13日(土) 14:00〜16:30

会場: ひと・まち交流館 京都

(京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分)

会費: 1,000円

定員: 200名(先着順)

主催: 「フォーラム・子どもたちの未来のために」実行委員会

[\(https://www.f-kodomotachinomirai.com/\)](https://www.f-kodomotachinomirai.com/)

申し込みは、フォーラムのホームページ、もしくは下記へ。

日本児童図書出版協会 メール: kodomo@kodomo.or.jp

Tel: 03-6273-7484 Fax: 03-6273-7485

LIPは、次の場所に置かせていただいています。

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [枚方市市役所南門 2-50-1 072-850-4400]
★ コミュニティーカフェ ラテール [枚方市西雲野 1-3-27 雲野口バス停前 072-848-0418]
★ NPO法人 りりあん [枚方市長尾元町 6-39-15 lrian@kcat.zaq.ne.jp]
★ 婦人洋品店 シヤルム [枚方市南楠葉 1-1-2 ぐずは公民館向かい 072-850-1362]
★ 喫茶 Dik Dik [枚方市岡本町 8-17 072-846-5377]
★ 街かどデザインハウス 藤阪愛逢 [枚方市藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび [枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレントビル 203 号室 072-856-9177]
★ 泉屋 楠葉店 [枚方市楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
★ WAVE34(ボウリング場) [枚方市田口 4-11-8 072-848-0450]
★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [枚方市堤町 2-1-103 072-861-6360]
★ 大阪総合会計事務所 [枚方市西雲野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
★ ヘアースタジオばべば [枚方市南楠葉 2-1-4 3 072-850-9070]
★ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) [枚方市大垣内町 2-1-20 072-841-1221]
★ 枚方市役所 津田支所 [枚方市津田北町 2-25-1 072-858-1502]
★ (財)枚方市文化国際振興財団 [枚方市岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
★ 枚方市総合福祉センター [枚方市津田東町 2-26-1 072-858-5835]
★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ばびるす [枚方市大字尊延寺 2200 072-859-0245]
★ NPO法人パーソナルサポートひらかた [枚方市中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
★ 自閉症療育センター Link [枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
★ 「市民の広場」ひこばえ [枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館A室 072-846-8780]
★ 紅茶専門店VIE [枚方市南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
★ shot bar カボチャソース [枚方市牧野下島町 14-22 072-809-7676]
★ ポパイ商店 [枚方市山之上 2-1-16 072-846-7232]
★ えほんのお部屋ひまわり畑 [枚方市香里ヶ丘 12-1-6 090-6739-7064]
★ クッキー工房おれんじはうす [枚方市交北3丁目 3-10 072-856-8378]
★ 陶器食器のお店 a new sprout [枚方市堤町 2-14 072-846-9550]
★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・メディ [枚方市堤町 10-12 072-843-1525]
★ 渦潮ベーカリー楠葉店 [枚方市町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
★ 輝きプラザ「きらら」 [枚方市車塚 1-1-1]
★ 教育文化センター [枚方市磯島北町 37-1 050-7102-3150]
★ 三代目たぐちゃん ピーコ [枚方市牧野阪2丁目 7-30 080-3785-1728]
★ MIKIHOUSE キャラメル [枚方市牧野阪 2-9-15-105 072-857-6626]
★ 株式会社 丸天酒店 [枚方市牧野阪 2-5-23 0120-39-7003]
★ MogaJoga Dining 枚方宿 [枚方市堤町 2-15 072-846-3535]
★ カフェレストラン 風鈴火山 [枚方市牧野阪 2-5-19 072-856-3799]
★ とくふうホーム [枚方市大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚方市牧野下島町 9-12 070-857-3540]
★ みんなでつくる広場「ちよこつ」 [枚方市楠葉野田 2-30-8 072-856-9439]
★ スパレレイ枚方南 [枚方市津田山手 1-1-24 072-808-4126]
★ やすらぎの丘霊苑 [枚方市大字尊延寺 4588 番 4 072-896-1212]
★ 蒔のいえ [枚方市甲斐田町 5番 25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660]
★ ちいさいまぐえん みんなの里 [枚方市楠葉並木 2-28-4 072-845-6814]
★ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 [西雲野 1-6-28 072-848-8481]
★ ぐずはアートギャラリー [枚方市楠葉花園町 15-1-2302 本館ハナモール 3階]
★ カフェル ボン [枚方市高田2丁目 20-17 072-396-8785]
★ 街かどデザインハウス秋桜 [枚方市宗谷 1-1-1 072-859-3991]
★ 明日花障害者作業所 [枚方市西雲野 1-3-18 072-848-2324]
★ 陽だまりの会 [枚方市交北 2-1-7 072-809-0015]
★ Lin Brun. [枚方市牧野下島町 18-7 072-865-3514]
★ カミュ [枚方市牧野下島町 13-11 072-865-7310]
★ Grand Table [枚方市山之上 1-1-12 072-846-3808]
★ 尊延寺公民館 [枚方市尊延寺 3-1-16 072-859-0168]
★ ひねもすばんのかふえ [枚方市堤町 10-24 鍵屋別館 1階 090-5963-0590]
★ まこと豆富 燈 本店 [枚方市楠葉中町 1-5 072-855-6022]
★ 雑貨&cafe ぐろねこくら [枚方市片鉾東町 20-1 072-896-9690]
★ 京阪総合カウンセリング [枚方市新町 2-1-9 ぼーむ 21 新町 106 号 072-814-7140]
- ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
- ★ フレッシュベーカーリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
★ 小規模通所授産施設 ミルキーウェイ [交野市天野ヶ原町 2丁目 14-20]
★ 青年の家 [交野市私部 2丁目 29-1 072-892-7721]
★ 大阪市総合生涯学習センター [大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル 5階 06-6345-5000]
★ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ [大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F 06-6885-8475]
★ ふらっとねやかわ [寝屋川市東大和町 2-14(市立産業振興センター)5階 072-800-5789]
★ ふれあいプラザ香里 [寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園古庫 072-835-3335]
★ 交野市役所内ネットワーク [交野市私部 1丁目 1-1]
★ Cut wa Coconi [交野市梅ヶ枝 55-13 072-893-0020]
★ ヘアサロンおおまち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)]
★ 和食「ふる里」 [三重県伊賀市長田 2541-1 0595-21-4498]
★ 大阪府衛生会附属診療所 高槻市奈佐原 955 072-696-3351]
★ 西宮男女共同参画センター ウェーブ [西宮市高松町 4-8 0798-64-9495]
★ 大東市生涯学習センター アクロス [大東市末広町 1-301 072-869-6505]
★ フェルデンハウス北斗星 [寝屋川市萱島東1丁目 16-15 070-5435-1965]
★ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
[大阪市中央区大手前 1丁目 3-49 06-6910-8500]

応援ありがとうございます♪

LIP 応援団

匿名希望さん、山田光一さん

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
27,461	前号から繰り越し
3,500	戦争体験本売り上げ
2,000	応援団寄付
▼560	郵送代
▼150	交通費
▼500	5月ロッカー代
▼4,120	5月号印刷代
27,631	計(次号へ繰り越し)

■LIPは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。
あなたも紙面に登場してみませんか？

「枚方自閉症児(者) 親の会」

■6月例会

- ・日時：6月26日(水) 10時～12時
- ・場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム

■7月例会

- ・日時：7月8日(月) 10時～12時
- ・場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム

■枚方市教育委員会との話し合い

- ・日時：7月11日(木) 10時30分～12時
- ・場所：教育委員会事務局(輝きプラザきらら)
- ・集合：10時に輝きプラザきらら 1階ロビー

連絡先 松崎 072-845-3014

春名 072-397-0053



「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索

イラスト 表紙：平井由恵